

論壇

富裕層と普通の観光客

先日、スイスのモントルーという町で行われた国際会議に招待されて出席した。

モントルーはジャズフェスティバルなどでも有名な、世界的なリゾート地である。レマン湖のほとりにある町で、対岸はフランスのエビアンであり、レマン湖の先に雪をたたえた高い山が迫っており、素晴らしい光景だった。

私が宿泊したのは、いろいろな国際会議が開かれることでも知られている高級ホテルである。宿泊料金を調べたら、自分ではとても利用できないような高額の宿泊料

伊藤 元重

東大教授(国際経済学)

だった。欧州の主権者の招待があったので、そうしたホテルを経験することができたわけだ。

会議の合間にレマン湖を眺めながら、欧州の観光について考えてみた。おそらくこうしたホテルが欧州の観光地にはあちこちにある、そうした所に滞在する富裕層

り、賑わっていた。おそらく近隣の町や国からバスや自家用車で来た人が、近くの普通のペンションやホテルに数日宿泊して、モントルーでの滞在を楽しんでいるのだろう。

こうした光景を見ながら、「山高ければ裾野広し」という言葉を

山高ければ裾野広し

が地域の雇用や産業を支えているのだろう。ただ、ホテルから出て町を歩いてみると、小さな町ではあるが、多くの屋台のような店が出ていて、クリスマスの蝋燭の飾りやチョコレートなどを売っている。週末ということもあり、町には多くの普通の観光客が出てお

思い出した。高級なホテルに泊まるような宿泊客がいて、それがリゾート地の高級感を醸し出しているが、それが同時に多くの普通の観光客を引きつけ、観光業が一大産業として成立している。逆もしかりで、多くの普通の観光客が来るので、町がリゾート地として成

り立ち、その中で一部の富裕層が高級ホテルや別荘を利用して、リゾート地としての付加価値を高めているのだ。

「山高ければ裾野広し」というのは、多くの産業で語られる。ある老舗のそば屋のオーナーが言っていた。低価格の立ち食いそばが増えたことで、ほんとうに美味しいそばの味が引き立つようになった。安売りそばがあるからこそ、高級そばが繁栄する。

爆買い頼みでは発展せず

友人の呉服店の人も同じことを言っていた。本当によい着物は残念ながら価格が高い。だから、気軽に購入できる着物や浴衣が売れば、それだけ本物の価値を理解してくれる人も増える。着物の業

界が栄えるためには、高級店と低価格品の店の共存が必要であるという。

さて、観光戦略についても同じことが言える。中国人観光客による爆買いなどで一時的に潤っている日本の観光だが、いつまでもこうした状況だけで観光産業が発展するとは思われない。冒頭で取り上げたようなモントルーなどに見られる高級な観光施設やそれを利用する富裕層の存在も重要である。

裾野の広い「富士の国」静岡であるので、観光業についてもぜひ裾野の広い姿にしたい。高級なものから安価なものまで、幅広い品揃えを備えた観光資源や観光施設を整備していかなくてはならない。

*この記事は静岡新聞社編集局調査部の許諾を得て転載しています。無断転載、複製を禁じます。